

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島小・中学校
児童・生徒数 24名
学校だより 12月号
令和3年12月20日発行

2学期を振り返って

校長 下村 尚

校庭の南側の斜面を見ると、ツワブキの黄色い花が一面を彩っています。更にその斜面を細かに見てみると、ツワブキの葉に隠れてテッポウユリの葉が大きく成長をしてきています。自然豊かな宝島の季節の移り変わりを感じる日々です。

2学期を振り返ってみますと、コロナ禍2年目ではありましたが、創意工夫をしながら、大きな行事を実施することができ、大変嬉しく思うところです。運動会では、村営船の出航日の関係で通船業務と重なってしまう面もありましたが、事前の調整のもと多くの皆様のご参加を賜り、大変盛り上がることができました。文化祭では、日頃の学習の成果の発表を行った児童生徒、島民の方々の舞台発表、たくさんの展示作品等、こちらも盛会のうちに終えることができました。収穫祭では、昨年度は島民



の方との交流の場がありませんでしたが、今年は昔遊びなどを通して、大変充実した場となりました。教科学習面でも、「書くこと」にこだわり取り組んできた成果が、多くの場面で発揮され、大きな賞をいただくこともできました。感染症対策を取りながら工夫改善を行い、可能性を見出すことのできた2学期でした。

年が明けますと、中学3年生は受験が控えています。その他の学年の児童生徒もまとめの学期となります。3学期も2学期以上に成果が発揮されることを期待します。

2学期中の御協力、御支援に感謝いたします。どうぞよいお年をお迎えください。



「書くことは宝なり」 From 校長室

大変大きな受賞がありました。第8回「心に残る給食の思い出」作文コンクールにおきまして、小学5年生の松元大樹さんが、全国1位に該当する【農林水産大臣賞】を受賞しました。『こん立て表とにらめっこ』という題目で、給食調理員として学校で働くお母さんの姿をとおして、給食調理の大変さやお母さんへの感謝の気持ちが伝わってくる作文です。

11日(土)には、本校の図書室にてオンラインによる表彰式が行われました。(写真右)コロナ禍でなければ、東京の霞が関で表彰式が行われる予定でした。当日は、表彰式の中で大樹さんが堂々と作文を読み上げました。この日のために積み上げてきた朗読の練習が実を結びました。また、式後には本校新聞部のインタビューもあり、部員の質問に笑顔で応えました。【日本一の農林水産大臣賞】受賞、本当におめでとうございました。



ZOOMでの授賞式

地域の方の音色, 芸術鑑賞会

先月は、いまきら園児も交えて「芸術鑑賞会」を実施しました。さまざまな楽器について、DVD映像で学習した後、実際に、地域の方々に実演をしていただきました。ドラムやスネアドラム、カホン、鍵盤打楽器など、それぞれの楽器が奏でる素敵な音色に、リズムをきざんでみたり、透明感のある木琴や鉄琴に思わず目を閉じてうっとりとしてしまう時間が流れました。鑑賞した後は、「楽器体験タイム」が設けられ、子どもたちは実際に楽器に触れて音を鳴らし、うれしそうに演奏のポーズをとったりしていました。子どもたちの学びの様子から、「体験の効果」は大きいことを改めて感じることでした。



ご協力いただきました竹内寿恵さん、平田宏喜さん、いまきら園の牧口優花先生、本当にありがとうございました。



「収穫祭」へようこそ！

学校での落花生栽培は17年目となりました。今年はぜひとも実施したいと計画していた「収穫祭」を開催することができました。当日は、老人クラブの方々や「いまきら園」の子どもたちをお招きしました。小中学生による落花生の栽培や黒糖ピーナッツづくりについての発表、ふれあいタイムでは「昔遊び」（けん玉、お手玉、メンコ、おはじきなど）を島民の方々に教えてもらいながら楽しい時間を過ごすことができました。また、グランドゴルフのホールインワンゲームでも盛り上がりました。帰るときには、心を込めて作った「黒糖ピーナッツ」をプレゼント、大変喜んでいただきました。



来年の収穫祭では、黒糖ピーナッツと温かい緑茶で会話をしながら会食ができることを願います。収穫祭へご参加いただきまして、本当にありがとうございました。

1月の主な行事予定

- 1日(土) 元日
- 10日(月) 成人の日 村成人を祝う会
- 11日(火) 3学期始業式 身体計測
- 12日(水) 受験生の集い(TV)
- 14日(金) 漢字検定
- 15日(土) 土曜授業 トカラ集会(宝島)
- 18日(火) 鹿児島県学習定着度調査 ~19日
- 21日(金) 席書会

- 22日(土) 英語検定

